

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 5 月 14 日現在

機関番号：17102

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2011～2013

課題番号：23650563

研究課題名(和文)九州大学医学部における史料研究 - 新しい「医の倫理」教育方法論の構築 -

研究課題名(英文) A Historical Study of the Department of Medicine, Kyushu University - A New Bioethics & Medical Ethics of Educational Research -

研究代表者

丸山 マサ美 (Maruyama, Masami)

九州大学・医学(系)研究科(研究院)・講師

研究者番号：80294990

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,700,000円、(間接経費) 810,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の目的は、本学医学部の古い史料を現在の教育に活用することであり、新しい教育方法論を模索することにあった。研究成果として、これまでに講義・討論を中心とする教育から、調査・整理、成果報告において、学生の積極的参画は、本研究目的の第一段階の達成とする。研究成果『九州大学医学部標本・史料集(ISBN 987-4-9944005-10-9)』は、九州大学学術情報リポジトリにより、広く学内・外に公開した。今後さらに、倫理教育における古い史料の位置づけ、教育への適性など量的・質的な視点からの評価・考察から新しい教育方法論は構築される。

研究成果の概要(英文)： The purpose of educational research is A New Bioethics & Medical Ethics by old many source books. Now, We have an idea of a lecture and some discussion for Ishigaku, Bioethics & Medical Ethics. This time, the Several students have a new Bioethics & Medical Ethics education from a new idea of old many source books, the results (ISBN 987-4-944005-10-9) are as QIR (Kyushu University Institutional Repository). QIR is new education and research for old many source books. In future, the position and appropriate of education in Bioethics & Medical Ethics, An Assessment & Consideration from the viewpoint of Quality assessment and Quantity assessment, We have a new educational idea.

研究分野：複合領域

科研費の分科・細目：科学社会学・科学技術史

キーワード：医史学 バイオエシックス

1. 研究開始当初の背景

九州大学医学部図書館所蔵には、17世紀より19世紀までの古医書・貴重史料が蓄積されている。これらの貴重書の中には、当時の診療に関するだけでなく、各時代の専門家としての医師の「医の心 精神」、「思想」、「哲学」といった『価値教育』の真髓が記されている。

現在、九州大学医学部において日の目を見ることのない多くの未整理の古医書・貴重書、器物史料を現在の教育に活用することができないものかと考えた。

今回は、九州大学医学部基礎研究棟・久保記念館 耳鼻咽喉科教室を調査の対象とした。久保記念館に蓄積された多くの貴重史料は、そのほとんどが、詳細な調査・整理・分析などがなされた形跡がないことから、医学部図書館館長および、耳鼻咽喉科学教授の指導の下、調査・研究協力を求めた。

九州大学医学部の歴史は、1903年に始まる。本学は、優れた多くの初代教授を迎えながらも、これまでに、“人間形成の価値教育”など、人物に焦点をあてた教育・研究はなされてこなかった。

本研究においては、今後、古い史料を用いた新しい「医の倫理」教育方法論を模索した。

2. 研究の目的

九州大学医学部における器物史料・古医書・貴重書などを調査・整理する。

<近世文書 人物研究>

耳鼻咽喉科初代教授 久保猪之吉研究
細菌学 初代教授 小川政修 文庫

上記、教授2名の古い史料を現在の教育への利用可能性を模索するため、現役の耳鼻咽喉科学教授、細菌学教授2名を研究分担者とした。統計解析など、デ・タ処理担当者として、連携研究者として、統計家も研究組織に参画した。

将来の展望としては、国際フォーラム シンポジウム など、意見交換と共に、国際比較研究に発展することを期待した。

3. 研究の方法

平成23年度

- 九州大学医学部基礎研究棟、久保記念館を中心に、近世文書・器物史料・古医書・貴重の実態を調査する。
- 1より抽出された史料を解析する。

<研究の特徴>

明治期・大正期・昭和(第二次世界大戦)における九州大学医学部初代教授の「教育理念」、「医の倫理」、「医の哲学」など、発掘史料から考究した。必要に応じ、当時のことを知る関係者にインタビューを実施した。当時

の医師の求めた『身体観』『病気観』『死生観』等について、文書・器物史料・診療録 患者カルテ 等について、参考史料の内容とインタビュー - 内容(テ - プ興し)・分析を行った。

<研究成果の公開>

結果は、時系列にまとめ、公開 システム化した。九州大学学術情報資源管理システム:九州大学学術情報リポジトリ - 活用により、本研究成果は、学内・学外(海外)の閲覧を可能とした。

<研究成果と課題>

本研究に關与した大学院生・学生への古い史料の現在の医学教育、「医の倫理」、医療倫理学教育方法論については、今後さらに継続、検討したい。

4. 研究成果

1) 本学医学部久保記念館において、初代教授久保猪之吉の“手術候補簿”が、発見された。明治期の耳鼻科疾患、診療の実態と共に、教育理念、当時の医師としての心構えなど、診療のみならず、久保教授の人間性が窺えた。

2 器物史料については、医学部基礎研究棟における“1997年調査資料”を中心に、『九州大学医学部標本・史料集(ISBN 987-4-944005-10-9)』を作成した。平成17年、福岡西方沖地震において、既に修復できない貴重な病理標本など、フィルムに収めてあり、明治期 - 大正期 - 昭和期『病理学』『解剖学』『整形外科』領域における史料は、各学問体系の系譜を概観する上で、また、時代における社会との関係性を考究する上でも『意味』を持ち、医史学の発展に資するものとなった。本史料集は、史料の性質から、国立国会図書館・本学医学部図書館展示室に寄贈・保管した。尚、成果は、九州大学学術情報リポジトリ - 適用情報資源管理システムを活用し、学内・学外 海外 からの閲覧を可能な状態とした。

3 本研究に關心を寄せ、調査・史量解析などに關与した学生は、現在、5年生となった。当時、2年次であったが、病院臨床の経験を踏む学生となった。

2012年、第113回日本医史学会(獨協医科大学開催)に、学術集会に学生会員として参加したが、2014年5月31日 - 6月1日、第115回日本医史学会 九州国立博物館開催となり、学生として学会運営に参加した。

医療専門職者を目指す院生・学生が、本研究の調査・整理・成果報告に参加した事は、非常に意義深く、本研究の今後の発展と深く關与していると考えられる。今後さらに、本研究の問題点・課題などを整理すると共に、教育への応用可能性を模索していく必要がある。

平成 23 年度

貴重書・器物史料調査
久保記念館・医学部図書館など

平成 24 年度

収集史料の整理・目録化・内容分析

平成 25 年度

収集史料の整理・目録化・製本

平成 26 年度

成果報告

「古い」史料の「現代」の教育への応用

本計画は、当初、平成 23 年度～平成 25 年度 3 月末にて、調査 - 整理 - 報告書(まとめ) 終了予定であったが、『九州大学医学部標本・史料集 - 1997 年 - 』作成は、臨床研究棟 5 階整形外科教室器具・ノ - ト 83 点、基礎研究 A 棟 2 階、解剖学研究室、解剖模型 294 点、基礎研究棟 A 棟 1 階病理学教室・標本 1542 点、基礎研究 A 棟 1 階、医学部資料室 221 点、これらの史料整理には、不明な点も多く、日本医史学会福岡地方会メンバ - の専門領域の医師等の助言により、1 年間、研究期間を延長した。この事により、『九州大学医学部標本・史料集』の細部にわたる正式名称が整理された。

尚、第 115 回日本医史学会 2014 年 5 月 31 日 - 6 月 1 日、九州国立博物館開催 において、本研究に関与した学生等と共に、学術集会在運営される。本研究のさらなる発展が期待される。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 0 件)

[学会発表](計 6 件)

丸山マサ美、小宗静男、吉田眞一、下川元継、副島忠弘、末松孝文「九州大学耳鼻咽喉科初代教授久保猪之吉 - 第 1 報 “同門の語り” に見られる久保像 - 」第 113 回日本医史学会(2012 年 6 月 17 日) 獨協医科大学

末松孝文、丸山マサ美、小宗静男、吉田眞一、副島忠弘、下川元継「九州大学耳鼻咽喉科初代教授久保猪之吉の業績 - 第 2 報同門の語りに見られる “医の倫理” - 」第 113 回日本医史学会(2012 年 6 月 17 日) 獨協医科大学

丸山マサ美「新しい医の倫理教育方法論の構築 - 九州大学耳鼻咽喉科初代教授久保猪之吉の思想」第 31 回日本医学哲学倫理学会 2012 年 11 月 17 日 金沢大学
丸山マサ美、小宗静男、吉田眞一「福岡醫科大學醫院耳鼻咽喉科手術候補簿」第 114 回日本医史学会(2013 年 5 月 12 日) 日本歯科大学
丸山マサ美「医療倫理学における新しい教育方法論の構築 - 第一報 - 」第 25 回日本生命倫理学会(2013 年 11 月 30 日) 東京大学
丸山マサ美、吉田眞一、小宗静男、Wolfgang Michel「九州大学医学部における史料研究 1997 年調査 - 」第 115 回日本医史学会(2014 年 6 月 1 日発表予定) 九州国立博物館

[図書](計 1 件)

丸山マサ美 Wolfgang Michel、吉田眞一、小宗静男「九州大学医学部標本・史料集 1997 年調査(ISBN987-4-944005-10-9)」(2013 年 5 月)

[産業財産権]

出願状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：
取得状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]

ホームページ等
<https://qir.kyushu-u.ac.jp/despace/handle/2324/26569>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

丸山マサ美 (MARUYAMA MASAMI)
九州大学大学院医学研究院・講師
研究者番号：80294990

(2) 研究分担者

吉田眞一 (YOSHIDA SHINICHI)
九州大学大学院医学研究院・教授
研究者番号：60128113

(3) 研究分担者

小宗静男 (KOMUNE SHIZUO)
九州大学大学院医学研究院・教授
研究者番号：10117434

(4) 連携研究者

下川元継 (SHIMOKAWA MOTOTUSGU)
九州がんセンター
研究者番号：10625966